



India Weekly

2020年1月27日

eastspring
investments

(対象期間：2020/1/20～2020/1/24)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年1月24日)



【株式市場】

週初は、利益確定を急ぐ売りが出てインド株式市場は下落しました。翌日は、新型コロナウイルスの拡大への警戒感からアジア株式市場が下落する中、インドも連れ安となりました。22日は、まちまちな内容だった10-12月期の決算発表を受けて、続落しました。23日には原油価格の下落が好感されて反発し、24日は2月1日発表予定の2020/21年度の予算案への期待感などから堅調となりましたが、週間では下落しました。

2020/1/17	2020/1/24	変化率
41,945.37	41,613.19	-0.79%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年1月24日)

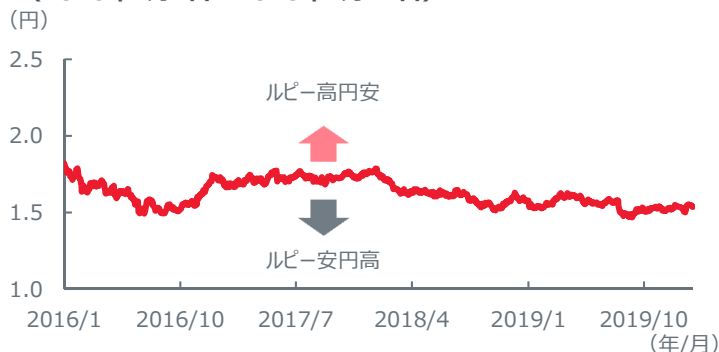


【債券市場】

週半ばまで、インド10年国債利回りは一進一退の動きでしたが、23日は4回目となるオペレーションツイスト*が行われたことから、利回りは低下（価格は上昇）しました。24日は、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が外国人投資家向けの新しい投資ルートの投資枠を拡大したことなどが好感されて、さらに利回りは低下し、週間でも利回り低下となりました。

2020/1/17	2020/1/24	変化幅
6.626	6.582	-0.044

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年1月24日)



【為替市場】

新型コロナウイルスの拡大への警戒感から多くのアジア通貨が軟調となり、ルピーも対米ドルで下落しました。一方、円が対米ドルで上昇したことから、ルピーは対円でも下落しました。

2020/1/17	2020/1/24	変化率
1.549	1.536	-0.83%

*中央銀行が公開市場操作において、長期国債の買い（売り）オペと短期国債の売り（買い）オペを同時に行うことで、市場への資金供給量を一定に保ったまま、長短金利を逆の方向に動かす金融政策の手法の一つ。

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。